



国土交通省 東北地方整備局
 仙台河川国道事務所 古川国道維持出張所のしごと

みなさんが毎日利用する道路。その道路を快適に、そして安全に利用できるよところかけ私達は仕事をしています。そこで、みなさんに古川国道維持出張所の仕事を理解してもらるように私達の仕事をご紹介します。



古川国道維持出張所のしごと
その①
技術編



安全快適な歩道づくり

歩行者や自転車の安全のために歩道を新しく作ったり、高齢者や障害者の方々のために今ある歩道の段差を取り除いたりしています。

道路補修工事

みなさんが毎日利用する道路をいつも安全に使えるように道路の補修(修理)を行っています。



舗装の補修状況

渋滞対策

渋滞を防ぐために、今ある道路を有効に使う工夫を考えています。交差点に右折・左折レーンをつくり渋滞をやわらげたり、バイパスをつくり地域間の様々な流通を支えるのも大きな仕事のひとつです。

防雪柵

暴風や積雪の多い地域では、突風や雪の吹きだまり、地吹雪などから安全と快適性を確保するために、防雪柵を設置しています。



防雪柵の設置状況(栗原市高清水)

除雪作業

冬の道路は、雪がもつたり、凍ったりと大変危険です。道路の雪かきや、凍るのを抑えたりするのも大きな仕事のひとつです。

情報BOX

道路の地下に、いろいろな情報を高速で伝えることができる光ファイバーを取り入れ、より快適な道路環境づくりをしています。
 ※情報BOXとは、大量の情報を迅速に伝送することができる光ファイバーを収納するための“空間”です。

情報BOXのメリット

- ① 遠隔地の道路状況の把握・対応が迅速化。
- ② 道路通行者への道路情報サービスの向上による安全確保。
- ③ インターネットやCATVなど皆様の暮らし全体のマルチメディア化の実現。

管理する道路の場所(エリア)



4

53.0km
 大衡村・大崎市三本木境～
 栗原市金成・岩手県境

4

1.7km
 築館バイパス

108

22.8km
 石巻市・涌谷町境～
 大崎市古川(国道4号交差点)

合計

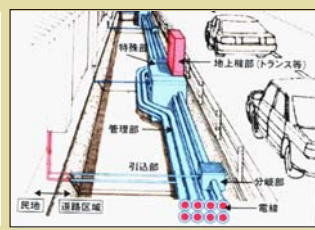
77.5km

電線共同溝

路上空間に張りめぐらされた電力線・通信線(電線・電話線)などのケーブルをまとめて地下に収容します。

電線共同溝のメリット

- ① 電線類の地中化により、快適な歩行空間の確保や景観の向上が図られます。
- ② 災害時の電柱倒壊等がなくなり迅速な救助活動が可能となります。



電柱が無くなります

